

2012 学校支援連絡会 開催される

6月27日(水)、2012年度の学校支援連絡会が教育センターにて開催されました。高橋圭子教育委員をはじめ、小中学校校長会担当者2名、6つの連携団体、各小中学校から1名ずつのVCと、坂本学校教育部長以下教育委員会事務局が参加しました。

連絡会終了後、FC町田ゼルビア、町田華道協会、町田茶道会の方から、活動について説明していただきました。

年々充実してくる学校支援センター事業を感じることができ、新たな課題解決に向けて今年度も取組もうと思います。



2012 第1回ボランティアコーディネーターミーティング 終了

中学校ボランティアコーディネーターミーティング(以下VCM)から始まって、小学校6つの地区のVCMがすべて終了しました。今年度は、9校の中学校VCにも近隣小学校地区別VCMに参加していただきました。

おもな話題として、以下の事項が取り上げられました。

「何年も継続して取組んでいると、ボランティアの方に入っていただく授業が既定のこととなり、挨拶やお礼の手続きがマンネリ化して省略されがちになる。」

「長年VCとして活動していると、学校から人手(員数)として扱われるようになる。VCとしてどこまでやればよいのか、立ち位置がわからなくなってくる。」

「保護者にボランティアの申し込みを募ったが、応募者がとても少なかった。」(逆に多く登録して下さったという学校もありました)

「スクールボード校の地域支援理事とVCとしての役割の違いがよくわからない。どのように捉えたらよいのか。」

なかなか即答できない内容が多かったのですが、ほとんどのVCが1年以上の経験を踏まえて、同じ土俵に立って話すことができるようになってきていると感じました。たとえば、VCとしての1年目は学校からの要望の集約の仕方や人材の探し方など、わからないことも多くあります。2年目になると、前年度の実績をまとめ、新学年担当者に提示しながら計画を立

てます。3年目・4年目になると前述したような新たな課題が見えてきます。

課題を解決するためには、VCが力量を高めること、学校に努力してもらうこと、地域や保護者の方に理解を深めていただくことなどが考えられます。

まだまだ、これから整理していかなければならないことが多いですが、一緒に考えていきたいと思えます。



学校支援センターは新庁舎 10F に引っ越しました

町田市学校支援センターが、新庁舎竣工に伴い、7月8日（日）に引越しを完了し、9日（月）から最上階の10階にて業務を開始しました。



通路から奥まった場所にあるため、通路側に近い職員に取次ぎを頼んでください。私たちがカウンターまで行きますので、別室で面談することになると思います。新庁舎ではどのようなスタイルで業務を行っていくのかこれから模索していきます。たくさんの方に来ていただき、スタイルを確立していきたいと思えます。

皆さんとともにある学校支援センターとして、事務作業にばかり専念するのではなく、これからも学校に出かけたりたくさんの方にお会いしたりして話し合い、アイデアを生み出

していきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

移転に伴い内線番号も変わりました。042-722-3111（代表）に電話し、指導課学校支援センター〈内線 5114〉につないでもらってください。また、こちらから電話した際に着信履歴に表示される番号（皆さんの電話に表示される着信番号）に電話してもつながりません。FAXは、050-3161-8122です。当方も、新しい電話機の使い方にまだまだ四苦八苦しています。当面ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、宜しくお願いします。

夏季の企画 外部人材を活用したサマースクール 補習学習

今年度も、市内の各小中学校では夏休みに外部人材を活用したサマースクール等の体験学習や補習学習が行われます。教員が補習学習を行う学校もあります。

各学校から提出された月別行事予定表などをもとに集計したところ、外部人材を活用した企画は小学校で24校、中学校で3校になりました。

学校支援センターは、これらの取り組みを最大限参観に行きたいと思っております。皆さまも、都合のつく方は事前に学校に連絡して参観されてはいかがでしょうか。特に、中学校のVCには近隣の小中学校の参観をお勧めします。

小学校第一地区 校長・VC 合同ミーティング 新庁舎で開催

昨年度に引き続き、今年度も第一地区では校長とVCとの合同ミーティングが開催されました。今回の会場は、新庁舎10階の会議室でした。

当日は7校の校長、11名のVCと学校支援センターから2名が参加しました。はじめに、校長会より今年度の1地区の取り組みのプレゼンがありました。

第一地区として共通のねらいを持って、取組んでいこうというものです。まず、学校ごとに発掘された地域の教育資源や学生を含めた人材、開発された授業プログラムをもとに各校の特色ある教育活動を目指します。かなり共有化されている活動事例もあります。これらの教育資源や人材、授業プログラムをまず地区内で、その後市内で共有できないか、HPの開設も視野に入れて考えていくという内容でした。

今後の学校支援センターの可能性、中学校も含めた地域事業本部的な活動の可能性に満ちた取組だと思いました。

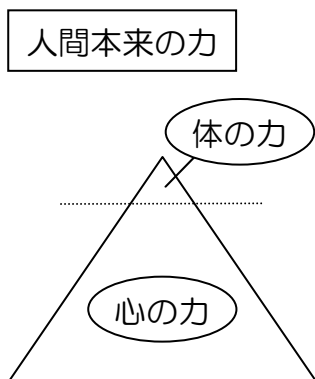
また、前述した地区別VCMで出てきた諸々の課題についても学校支援センターから話をさせていただきました。

引き続き、7月24日（火）には第二地区の合同ミーティングが予定されています。



つくし野小学校で「氣の活用」授業が行われる

梅雨明けした7月17日の5・6校時、つくし野小学校の5年生「氣の活用」の授業を参観しました。講師は、岡村隆二先生です。岡村先生は生きる力の源となる“心”や“体”のことをたくさんの人に知ってもらおうと、『“元氣”の研修』をいろいろなところで指導されている方です。これまで、中学校・高校から、大学・実業団・プロ野球の選手を対象にした指導歴があります。



先生は実技指導に入る前に、ホワイトボードに左のような図を描き、冰山全体の力が人間本来の力であること、人間本来の力は「体の力」と「心の力」から構成されていることなどから、「心の力」の重要性を説明されました。次に「氣」を出すための実技指導に移り、「氣」をどこに置くかによって、折れない腕にもなり、倒れない姿勢にもなることを一人一人が体験しました。この授業を受けて、子どもたちの姿勢や顔の表情などが変わり、「元氣」が増しているように見えました。

岡村先生による「氣の活用」の授業は、町田五小で以前より行われています。両校ともにたくさんの成果が得られたようです。

生活指導の枠内で、または心の教育や体育の授業の一環として、皆さんの学校でも検討してみてはいかがでしょうか。お問合せなどがありましたら、学校支援センターまで。



事務連絡

①2012年になってから、59名のボランティア登録がありました(6/29現在)。人材紹介をした学校の実数は、4月からで小学校12校、中学校11校です。教材紹介は小学校が3校です。昨年度と比べて、中学校からの要請がとて多くなりました。すべて要請に対して人を紹介し成立しているわけではありませんが、迅速性を心がけてこれからもやっていきますので、要望がおありの際は、とりあえず学校支援センターにお電話ください。

なお、最近多い「夏休みの補習学習に学生を」という要望は、学生が前期テストの真最中のため、8月上旬までは難しいです。かわりに、地域の方を紹介しています。これをチャンスに考え、人材の発掘をしていきたいと思っています。

また、9月中旬から学生は後期が始まり、時間割が変更となり活動できなくなるケースがありますので、対策を考えておいてください。学校支援センターとしましても、後期に向けて3大学に募集案内を配布しました。

②夏の大学と連携した授業力・教育課題研修は、8名の方から延べ14講座の申し込みがあり、すべて受講できることになりました。すでにVCも教員の指導内容を理解して、プログラムと一緒に作成する学校もあります。それなりの理解を進めていきたいものです。